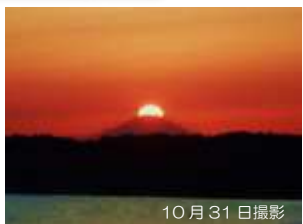


令和2年度
印西市民アカデミーだより
ぶらす
第19号

印西の歴史散策3

第3回目は、11月13日(金)に旧印旛村の「瀬戸地区」を散策しました。コースは、印旛公民館→→→^{がんじょういん}願定院→→→瀬戸宗像神社→→→弁天池→→→^{とくしょういん}徳性院→→→印旛公民館(約3.5km)。今回のメインは、小高い丘の上にある徳性院から印旛沼に沈む夕日を望むことです。午後2時30分に出発し、最初に立ち寄ったのは、無量壽山願定院本願寺(天台宗)。本堂の右手には立派な馬頭観音堂があり、「日本無双開運出世馬頭観音菩薩」として広く信仰されてきました。この地域には「白馬伝説」が伝わっており、観音堂の正面上部には、白馬の彫刻が飾られています。



10月31日撮影

次に立ち寄ったのは、瀬戸宗像神社です。印西市内にある宗像13社の一つです。当日は、昨年の台風で被災した拝殿の修理工事を行っていました。道を挟んだ向かいの土盛の上に数基の石塔があり、その中に大変珍しい「光明神咒供養塔」が建っています。塔の上部には、23の梵字からなる「陀羅尼」が刻まれています。



馬頭観音堂



瀬戸宗像神社本殿

続いて立ち寄ったのは、弁天池です。天気が良かったので、予定を変更して立ち寄りました。丘を下ったところに一辺が10mくらいの正方形の池の中に浮島があり、弁天様が祀られています。昔、このあたりに船着き場があったのでしょうか？

終点は、合集山徳性院多門寺(真言宗豊山派)です。江戸時代に沼の航路安全祈願のため、近隣寺院を併合して現在の地に建立されました。本寺の山門前から望む雄大な印旛沼の景色は、写真愛好家の間では有名です。特に、ダイヤモンド富士が望める時期は、大変賑わいます。当日は、快晴無風で水面に映る夕日をじっくり眺めることができました。絶景でした！



光明神咒供養塔

